

事務事業名	《H26拡充》はしご車特別整備事業		所属部局	消防本部	単位番号	2011-13082				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	管理課	課長名	手塚 千広				
			所属担当	管理担当	担当者名	千野 勤				
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	06	安全な環境づくり	事業区分	01	一般	09	01	01	030	29
施策	08	防災体制の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
				<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	・消防法 ・「消防車両の安全基準の徹底について」消防庁通知						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	はしご消防自動車は平成5年1月導入し、平成15年度にオーバーホールを行っており、その後安全基準に示す7年を経過していることから、早急にオーバーホールの実施が必要であるが、緊急自動車の整備事業との調整も必要であるため、オーバーホール実施までは点検整備によってはしご自動車の維持管理を行う。(平成23年度～平成25年度:点検整備、平成26年度:オーバーホール)			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				修繕料	23,220					
						計	23,220			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	平成26年度は、オーバーホールを実施する。
26年度活動内容	毎年行なう定期点検
27年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	はしご自動車
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	はしご自動車を正常に機能するよう整備し、災害時の運用に支障がないようにする。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	災害時に、安全かつ適切に業務を遂行することが可能となり、人命救助活動が円滑に実施できる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:オーバーホールの回数	回
イ:		
ウ:		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:はしご自動車	台
イ:		
ウ:		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:はしご自動車の不良箇所の件数	件
イ:		
ウ:		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:災害時の出動件数	件
イ:		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	280	280	23,220	324	324	324		
		事業費計(A)	千円	280	280	23,220	324	324	324		0
	人件費	正規職員従事人数	人								
		延べ業務時間	時間								
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	280	280	23,220	324	324	324		0
	活動指標	ア:回				1.0					
		イ:台	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		ウ:件	2.0	3.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	対象指標	ア:台	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		イ:件	2.0	3.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		ウ:件	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	成果指標	ア:件	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		イ:件	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		ウ:件	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	上位成果指標	ア:件	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		イ:件	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		ウ:件	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	はしご自動車を配備した平成4年度から整備を実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成19年5月付けで「はしご自動車の安全基準」について消防庁から通知され、安全基準に沿った整備を行う必要が生じた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市民等から特に意見はないが、平成15年度の前回オーバーホールから9年を経過し、はしご自動車を運用する職員から近年中のオーバーホールを望む意見がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	はしご自動車の管理について、取扱いにおける安全性及び適正な運用を目的に消防学校のはしご自動車研修を受講させている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	同上

事務事業名	《H26拡充》はしご車特別整備事業	所属部	消防本部	所属課	管理課
-------	-------------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 安心安全なまちづくりには消防車両の整備は必要である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市で組織する消防の運営は、当該市で事業費を負担することが適切である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 はしご車のような特殊車両は代替の車両がない為、常に正常な状態に維持することが必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 はしご車のオーバーホールを基準どおりサイクルで実施することにより、より安全な災害活動が実施できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市内にはしご車による活動以外に救出できない建築物がある以上はしご車を正常に維持する必要がある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 オーバーホールによるメンテナンスは、専門施設による分解整備となるので、コスト削減は成果の低下につながる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 他の事務を行いながらの契約事務等に限定された事務であり、これ以上の削減は困難。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 消防本部で所有する消防車両の維持管理事業であるため

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	やはり法定を遵守し、早期のオーバーホールが重要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 整備点検計画に添ったオーバーホールを実施する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 財政措置を計画的に重ねる。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	①																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	①																					